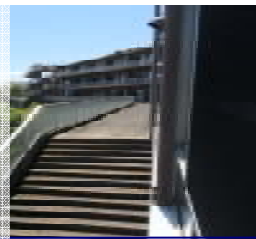


田谷の風

第38号

発行日:令和元年 10 月 10 日(四半期発行)
 介護老人保健施設ケアポート・田谷機関紙
 〒244-0844 横浜市栄区田谷町 2030-3
 TEL:045-858-5882
 発行責任者: 吉田憲一



第16回 ケアポート・田谷祭り2019

～田谷の雨から田谷の陽へ～

10月らしからぬ暑さが続いておりますが、お健やかに過ごしてしょう

か。今年もケアポート・田谷の年間行事で一番大きなものとなります「田谷祭り」が開催されました。昨

年は台風の影響により残念ながら中止となり、この記事も昨年は～田谷の雨～というタイトルをつけたことを記憶しています。今年こそは晴れる様にと祈っておりましたが、当日の朝まで予報は雨、私が出勤する時間も道路は濡れている状態...今年も雨になってしまうのかと半ばあきらめておりました。しかし！皆様の願いが通じたのか設営準備の段階から雨雲も無くなり、見事なまでのお祭り日和となりました!!延期することが難しいこともあり、よほどの大雨でなければテントや屋台の並びに配慮して、なんとか実施できる様にと考えていましたが、最後まで雨は全く降らずにフィナーレの花火も2年ぶりに打ち上げる

ことができました。参加された皆様にはちょうど良い天気になったのではないかと思います。

毎年改善を加えながら、少しでもご利用者にお祭りを楽しんで頂ける様に準備をしてきました。今年で3回目の披露となる職員バンド「ケアポケッツ」♪昨年は雨天の為、急遽屋内での演奏に変更したのですが、考えていたよりもご利用者が集まりやすかったりと好評でした。そこで今年は天候に関わらず屋内で演奏する様に予定を組みました。また、屋台が始まる前に各フロアで演奏し、その後ゆっくりと屋台



での食事を召し上がって頂ける様にプログラムを変更しました。同様に写真撮影についても午前中から撮影を始めていたので、1Fの撮影スペースの混雑が緩和され、ご家族との撮影が例年よりスムーズにできたのではないかと思います。

反省点としては、毎年屋台の食事提供量については例年の売れ行き具合を参考に準備するのですが、今年はここ数年にないくらい売れ行きが良く、焼きとりが売り切れになってしまったり、飲物を数種類急遽買い足してなんとか乗り切りました。過去には多く用意したものが大量に残ってしまったこともあり、予想が難しいのですが、残念ながら食べることができなかったご利用者やご家族には大変申し訳なく思います。

毎年たくさんのご家族の参加とボランティアの方の協力のもと、田谷祭りが開催できることを心から感謝しております。これからもケアポート・田谷をご利用頂いている皆様に、楽しい時間や思い出を提供できる様に職員一同精進して参りますので、今後もよろしくお願いいたします。

田谷祭り実行委員長：橘和豊



[illegible]

2 階介護：王



A group of people, mostly men, are performing a traditional Japanese dance or ceremony in a room with a white wall. They are wearing traditional Japanese clothing, including kimonos and hakama. Some are holding long, thin objects, possibly fans or sticks, and are in various poses, suggesting a choreographed performance. A banner with Japanese characters is visible on the wall behind them. The room has a simple, clean appearance with a white wall and a dark floor.



ョートマジックをご覧ください笑い笑顔が見られ楽しいイベントとなり、とても良い雰囲気の中終わりました。

これからも毎年この会をご利用者が、楽しく・笑顔で迎えられるよう、職員一同日々頑張っていきたいと思っています。

3階介護：阿久根

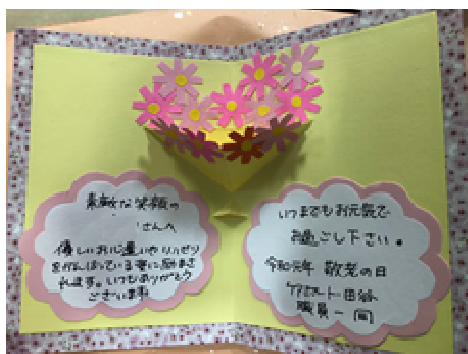
デイケア敬老会



デイケアの敬老会は、日頃の感謝と、ご長寿のお祝いとして田谷祭りの壁画の背景画を描かれている職員「佐久間 榮一歌謡ショー」を毎年行っていましたが、今年は新元号の「令和」初の敬老会ということで新たに2人の職員を加え、3人のとても美しい歌声がデイフロアに響き渡りました。毎年ご利用者に写真のプレゼントをお贈りしてきましたが、こちら令和初のプレゼントとして、ご利用者一人一人にデイ職員チームが一体となり、真心のこもった手作りのカードを作成しお贈り

しました。ケアポート田谷の目標である「利用者の方々一人一人を大切にし、真心のこもった施設を目指します」「職員同士がお互いを信頼しあい、チームワークに満ちた施設を目指します」「地域の皆様にとって、心の支えとなる施設を目指します」をモットーに、今後ご支援させていただきますので宜しくお願い致します。

通所リハ介護：小川



祭りの壁画はデイにお任せ！

年に一度の田谷祭り！

降雨の予報ではありましたが、皆様が待ち望んでいたお気持ちが天に届いたのか、曇りどころか見事に晴れとなりました。昨年屋外で行えなかった分、今年は思いっきりお祭りを十分楽しめたのではないのでしょうか。

さて毎年田谷祭りで2階3階のご利用者が記念撮影される背景画はデイケアのご利用者の作品であり、今年のテーマは「収穫の秋」でした。きのこ、柿、桃、ブドウ、どんぐりなどを、折り紙を契りダンボールに貼って作りました。「どうしたら美味しそうに見えるのかな」「こんな大きな桃があったらいいな」など作業中に色々な会話が飛び交っており、楽しみながら取り組まれていました。手指のリハビリも兼ねての集団作業ではありますが、田谷祭りの特大壁画に取り組む事は、今や私達デイケアの風物詩になっております。今年の「収穫の秋」壁画の仕上がりはいかがでしたか？過去の田谷祭りで撮影された壁画が現在も施設1階に飾られていますので、ぜひ合わせてご覧いただけたらと思います。

通所リハ介護：小川



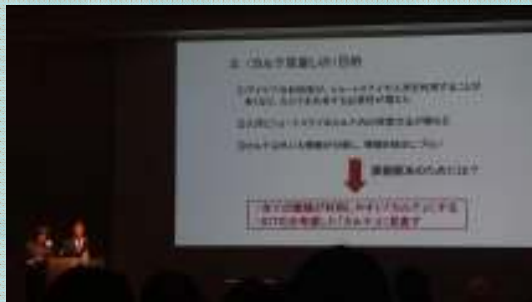
発表 演題

ICT活用に向けた初めの一步

去る6月1日、第17回横浜市介護老人保健施設研究大会がパシフィコ横浜にて開催されました。今年は、「業務改善」をテーマにカルテ（診療・看護・介護の経過等を記録した文書をファイリングしたもの）の見直しについて、各部署（通所、2F、3F、看護）の代表を中心としたプロジェクトチームを立ち上げて実施したことを発表しました。ご協力いただきました皆様にこの場をお借りし感謝申し上げます。



はじめに発表演題の「ICT」という言葉ですが、これはInformation and Communication Technology（情報通信技術）の略で、コンピュータやネットワークのような通信技術を利用したサービスの総称です。現在、介護の職場でもICT化は進んでおり、私どもの施設では事務関連は「介護報酬の請求業務」や「ケアプランの情報管理」等でICT化を進めてきました。しかし一方、介護現場のICT化はまだまだで、各部署の情報共有は基本「紙ベース」で行っています。そのため、介護現場のICT化を模索してきましたが、導入・運用の費用や職員教育等の問題点が浮き彫りになりました。このような状況下「カルテが使いづらい」という職員の声が聞かれるようになったため、ICT化を考慮したカルテへと



見直すことにしました。カルテを見直すにあたっては、各部署の代表者を中心としたプロジェクトチームを立ち上げ、①カルテの利用状況、②職員のICTに関する知識等を把握するためアンケートを実施し、その結果をプロジェクト内で考察し、カルテの見直しを実施しました。現在、見直したカルテで運用を行っています。

介護老人保健施設の介護現場のICT化は、「（診療・看護・介護等の）データの収集・分析によるご利用者への介入の効果や介入の改善度を把握し、（医師・看護職・介護職・リハビリ専門職・栄養士・施設ケアマネ・相談員等の）多職種が連携しながら仕事を進めることにより、業務の効率化やよりよいサービスを提供すること」が期待できるとされています。

また、現在政府でも「介護現場の生産性を飛躍的に高めるため、ICT化を徹底推進する」という方針を打ち出し介護現場のICT化を後押ししています。

私たちの施設でも今回の「カルテの見直し」を「ICT活用に向けた初めの一步」とし、「介護現場のICT化」が利用者様にとってもより有益なものとなるよう、一層推進していきたいと思えます。



支援相談員 藤本直也

